

シラバス (授業計画)

授業科目名	入学年度	開講学年・学期	必・選	単位数	担当教員名
裁判訴訟手続特論Ⅱ	共通	1・2年生	選択	2単位	吉野 正
準備学習の内容 (履修の前提条件) 裁判手続について、より高度の実践的知識を学ぶ。					
授業の到達目標及びテーマ 裁判手続の詳細と実務を理解する。					
授業の概要 裁判手続を学ぶため、基本教科書を事前に読んでもらい、また適宜、教材を議論をしながら学ぶ。					
<p>授業計画</p> <p>第1回 訴訟の種類と構造1 民事訴訟</p> <p>第2回 訴訟の種類と構想2 行政訴訟</p> <p>第3回 訴訟の客体1 訴訟物論</p> <p>第4回 訴訟の客体2 訴訟物論</p> <p>第5回 訴の形式 給付の訴、確認の訴、形成の訴、行政訴訟の訴</p> <p>第6回 訴訟の主体1</p> <p>第7回 訴訟の主体2</p> <p>第8回 訴の提起 訴の利益</p> <p>第9回 訴訟審理1 民事訴訟と行政訴訟の審理</p> <p>第10回 訴訟審理2</p> <p>第11回 証拠調べ</p> <p>第12回 訴訟の終了</p> <p>第13回 判決の効力</p> <p>第14回 行政不服審査</p> <p>第15回 行政事件訴訟法</p> <p>第16回 定期試験等</p>					
テキスト 適宜、資料を配布します					
<p>参考書・参考資料等</p> <p>「行政法」宇賀 克也著 「行政法」櫻井 敬子、橋本 博之著</p> <p>「税務訴訟の法律実務」木山 泰嗣著 「租税法」金子 宏著</p> <p>租税判例百選5</p>					
成績評価の方法・基準 通常授業による学習態度の評価と試験を総合的に評価する。					